

## 岡山県西粟倉村を拠点とする任意団体ちぐさ研究室の活動紹介・骨格標本の展示

川上えりか・清水美波  
(任意団体 ちぐさ研究室)

### はじめに

私たち「ちぐさ研究室」は、2021年春に岡山県西粟倉村に移住してきた2名による、西粟倉村を拠点に山や森林に親しむ場をつくる団体である。

子どもから大人まで、森林に興味がある人もない人にも、気軽に森林に触れ楽しむ多様な切り口を作ることを目的に結成した。現在は、主に無人駅を活用した活動・展示拠点「ちぐさ顕微室」の運営や、あわくら図書館での村民講師企画「やまと森の知らない世界」の企画運営、森林ガイド、動植物の標本作成、その他植物に関する情報発信などを行っている。

### 活動①無人駅を活用した活動・展示拠点「ちぐさ顕微室」の運営と標本製作活動

智頭急行あわくら温泉駅の待合室スペース内にて、活動と展示の拠点となる「ちぐさ顕微室」を2023年3月に開設した。待合室の壁面や空きスペースを活用し、村内で収集した昆虫標本・植物標本や、動植物に関するパネル展示を常設している。「顕微室」という名前には、私たちの身の回りに存在している大小さまざまな世界に、訪れた人や関わってくれた方々と潜っていき、「微(かす)かなものを顕(つまび)らかにする」場所にしたいという思いを込めた。2024年度は、独自イベントは実施できなかったが、昆虫標本の増設、動物骨格標本(村内で発見されたテンやフクロウなど)の製作を進めた。ロードキルなどによって死亡した動物の遺体を多数引き取っているが、現在は標本製作作業が追いついていない。今後はこれらの動物骨格標本の製作・展示を進めるとともに、昆虫や植物標本の展示も充実を図っていきたい。またこれらの活動に地域の方を巻き込みながら進める機会も作っていきたいと考えている。



写真1 あわくら温泉駅での展示

### 活動②あわくら図書館村民講師企画「やまと森の知らない世界」

あわくら図書館の「村民講師企画」の1つとして、シリーズ講座「やまと森の知らない世界」を2021年6月より開始し、令和7年1月末現在で全21講座を実施してきた。4歳から70歳まで、幅広い世代の参加者延べ161名に参加頂いており、今年度は夏休み期間に昆虫採集イベントなど行った。昆虫採集イベントでは、ライトトラップやピットフォールトラップ、イエローパントラップといった、虫網を使わない昆虫採集方法を中心に、参加者の方に実際に採集を体験して頂いた。採集した昆虫は運営側で標本化と展示を行う予定である。



写真2 昆虫採集イベントの様子

### 活動③情報発信

西粟倉や周辺地域の山の植物の情報や豆知識、日々の活動やイベント開催情報について SNS にて発信している。また、2023年10月から、日建設計コンストラクション・マネジメント株式会社が運営す

るウェブメディア「新林」にて、年に4回の連載「ちぐさ研究室の研究日誌」を開始した。「毎木調査をやってみよう」「骨格標本を作ってみよう」など、少しマニアックだが身近でもできる調査や実験を紹介している。

### 今後の展望

2024年度は、定期的なイベント開催の頻度が落ちてしまったが、昆虫標本・骨格標本の製作や展示は引き続き継続することができた。今後は、引き続き標本の収集や製作を進めると同時に、標本資料のデータベース化や公開の検討や、不定期ながらもイベント開催など地域の方を巻き込む場を作り、様々な視点で森に関わる機会、森のことを伝える機会を作っていきたいと考えている。